

水 稻 生 産 情 報




JA つがる弘前
中央地区営農係

高温続く予報！しっかりカメムシ対策・水管理をしよう！

今年は田植え以降気温が高く推移しているため、生態が早く推移しております。
 今後も高温が続く見込みですので、水管理をしっかり行い玄米の品質低下を防ぎましょう。
 また、【カメムシ注意報】も発表されておりますので、特に今年は病害虫防除など適期を逃さないよう気を付けましょう。

1. 水管理

出穂期以降も高温の予報！積極的に水を入れ替えよう！

時 期	水 深		目 的
	気温が高い日	気温が低い日	
出穂・開花期 (平年 8 月 4 日頃～)	5 ～ 6 cm	10 cm	・開花、受精促進、根の老化防止
【生態は平年より早い】 今年は生態がやや早く推移しています。平年値を載せていますが、水田の生態に合わせ早めに作業を行いましょう。	高温対策		 飽水管理 足跡に水が溜まる状態になったら再び入水する
	・出穂後 6 ～ 10 日の気温が高いほど胴割れ、乳白粒が発生しやすくなるため、 <u>かけ流しや水の入替え</u> を行い、水温・地温を低下させましょう。 ・用水の確保が難しい場合は、「 <u>飽水管理</u> 」で稲体の温度を下げましょう。水田に浅く(2 ～ 3 cm)水を入れ、水尻を止めて水が自然に減るまでそのままにする。田面が乾く前(溝や足跡に水がたまっている状態)に再び水を入れることを繰り返す管理。		
登熟期 (平年 8 月 14 日頃～)	気温が高い日 2 ～ 3 cm	気温が低い日 10 cm	・高温時は、土壌が常に湿った状態を保つ「飽水管理」を行いましょう。

2. 病害虫防除

(注意) カメムシ発生多い！しっかり防除しよう！

時 期	対象病害虫	薬 剤	散布量/10 a
穂揃期 (平年 8 月 6 日頃)	いもち病、カメムシ	ビームスタークル DL 粉剤	3 ～ 4 kg
穂揃期 7 ～ 14 日後	カメムシ	スタークル粉剤	3 kg



カメムシ防除は、通常 **1回防除体系** (穂揃期 7 ～ 14 日後：スタークル粉剤) ですが、防除を徹底するため **2回防除体系** (穂揃期 + 穂揃期 7 ～ 10 日後：キラップ粉剤、スタークル粉剤等) を実施しましょう。
 航空防除散布予定 (藤崎地区：1回目 8 月 5 日、2回目 8 月 19 日)
 (中央地区：1回目 8 月 4 日、2回目 8 月 17 日)

3. 落水時期

暑い年は早すぎる落水に注意！

高温対策

落水が早すぎると胴割れ米、屑米等の発生を助長させます。
 高温時は「飽水管理」を継続し、収穫予定日の7日前(刈取時に田面がしっかり乾く程度)から落水しましょう。

水田の性質	落水時期
湿 田	出穂後 20 ～ 25 日(平年 8 月 24 ～ 29 日頃)
乾 田	出穂後 30 ～ 35 日(平年 9 月 3 ～ 8 日頃)
砂質田、漏水田 いもち病発生田など	基準よりやや遅くする
登熟が遅れている水田	穂の色や稔実程度を見ながら徐々に落水

< 高温等による障害 >

・出穂後に高温が続いたり、早期落水、刈取り遅れ等で発生が助長されます。

胴割れ粒



くさび米



乳白粒



屑米等



4. 草刈り (カメムシ対策)

今年はカメムシの発生は多くなっております

9月上旬まで、畦畔の草刈りは絶対にやめましょう！ 今畦畔の草を刈ると、畦畔にいたカメムシを本田へ追いやることとなり、まだ柔らかい穂が吸汁され、斑点米の被害が助長します。



この中に2粒あるだけで2等へ落ちてしまいます。

